

大型二枚貝タイラギの環境浄化型養殖技術の開発

1 中核機関・研究総括者

(独) 水産総合研究センター西海区水産研究所 前野 幸男

2 研究期間

2006～2008 年度 (3 年間)

3 研究目的

有明海におけるタイラギ資源は壊滅的な状態で、タイラギの生産回復のための抜本的な方策および持続的な生産を業界から強く求められている。このため、本課題ではタイラギ種苗から出荷サイズまでの一貫生産をめざし、採苗方法、中間育成方法および垂下養殖方法の開発を行う。

4 研究内容及び実施体制

- ① タイラギ幼生・稚貝の効率的生産技術の開発 (長崎県総合水産試験場、小長井町漁業協同組合、(独) 西海区水産研究所、田崎真珠(株))

タイラギ種苗の安定的確保のために効率的な天然採苗方法および人工採苗方法を開発する。

- ② タイラギ稚貝の中間育成方法の開発 ((独) 西海区水産研究所、(独) 水産工学研究所、田崎真珠(株)、小長井町漁業協同組合)
貧酸素水塊および食害等の減耗要因防除のためのタイラギ稚貝の中間育成方法を開発する。

- ③ タイラギの養殖技術の開発 ((独) 水産工学研究所、田崎真珠(株)、(独) 西海区水産研究所、長崎県総合水産試験場、小長井町漁業協同組合)
出荷サイズまでのメンテナンスおよび収穫の省力化を図るためのタイラギ垂下養殖方法の開発を行う。

5 目標とする成果

有明海の重要二枚貝タイラギの持続的、安定的生産に寄与することで地域経済の活性化を図り、二枚貝の高い環境浄化機能を利用し生産性の高い海域の有効利用および清浄化により環境負荷の少ない養殖業が期待される。

大型二枚貝タイラギの環境浄化型 養殖技術の開発

背景：有明海におけるタイラギ漁獲量の長期的減少



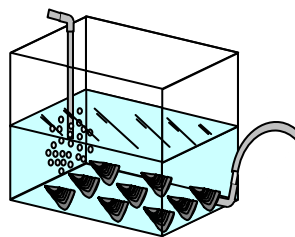
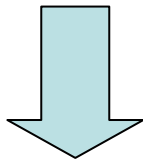
生産回復のための抜本的方策および持続的生産が急務

中課題(1) タイラギ幼生・稚貝の

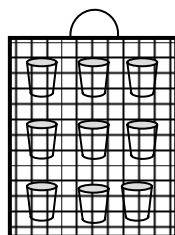
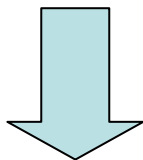
効率的生産技術の開発

①効率的な天然採苗技術の開発

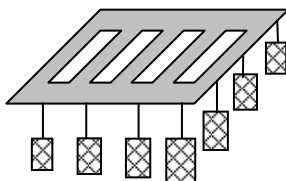
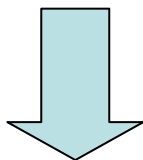
②人工種苗生産技術の開発



中課題(2) タイラギ稚貝
の中間育成方法の開発



中課題(3) タイラギの
養殖技術の開発



【プロジェクト参画機関】

水産総合研究センター

(中核機関)

・西海区水産研究所

・水産工学研究所

長崎県総合水産試験場

田崎海洋生物研究所

小長井町漁業協同組合

タイラギの養殖システムの開発

1. タイラギ種苗の安定的供給
2. タイラギの安全、安定的・持続的生産に寄与
3. 貧酸素、食害による減耗の効果的防除法の確立